

奈良県

○平群町老連

平成7年7月、川西市の老年福祉課へ手紙を送付。個人間での文通は現在も継続中である。また、平成7～8年、「編み物クラブ」で作製した防寒衣（帽子、ソックス、マフラー、手袋など）を川西市の老年福祉課、仮設住宅宛に送付した。

○三宅町老連

衣類・日用品・自転車・布団などの救済物資を被災地へ送付。

○三宅町東屏風老人クラブ

平成7年2月3日、被災地で活躍するボランティアの人たちのために、おにぎりや野菜入り味噌汁を地元で作り、芦屋市岩園町の避難所へ届けた。



平群町老連が作製した品々



○滋賀県老連

仮設住宅での孤独死を知り、激励交流会を実施

仮設住宅に暮らす高齢者の孤独死を知った滋賀県老連女性委員会では、毛糸のソックスカバ一1,008足を編んで神戸市東灘区老連に贈るとともに、平成9年1月24日に被災地を訪問、激励交流会を開催した。「一人ひとりの愛情のこもったあたたかいプレゼントに感謝します」というお礼の言葉に、贈った方も感激。「これからは本の友愛活動だと思おうので、何らかの方法で続けていきたい」との要望が参加者から出された。



神戸市東灘区のリーダーと交流する滋賀県老連女性委員会

滋賀県

●大津市、近江八幡市、草津市、彦根市、高月町、西浅井町、甲良町、多賀町、豊郷町、粟東町、愛知川町、湖東町、秦荘町、安土町、栗東町、石部町、甲賀町、信楽町、土山町、水口町、志賀町、マキノ町、虎姫町、野洲町、中主町、朽木村の各老連

兵庫県老連、神戸市老連へ女性部が中心となり手紙を送付。各クラブ会員宅宛に返事が届き、「勇気がわいてきてこれからもがんばろうと思っている」と大変喜ばれた。送られた手紙の総数は、平成9年3月で484通にのぼり、現在も交流が続けられている。

○和歌山県粉河町老連

姉妹老人会の提携を結び

粉河町老連では兵庫県宛に義援金を送ったことがきっかけとなり、「被災地の老人クラブを励ますために交流しよう」という気運が高まった。粉河町にも「長田」という同地名があることから、平成7年3月2日、避難所となっていた神戸市長田区の小学校を訪れ、救済物資や地元の長田鶴音のお守りを贈った。以後、長田区の3老人クラブと姉妹老人会の提携を結び、地元への招待や文通などの交流を続けている。「こうした交流によって、老人の偏りがちな心を広いものにしていきたい」と同老連では考えている。このときのお礼にと、平成8年2月27日には長田区の「にしさん白楽会」のメンバーが粉河町を訪問し、交流を深めた。



神戸市長田区長田小学校でクリスマス交流会を行う粉河町老人会女性部と長田区の姉妹老人クラブ会員

和歌山県

○和歌山県老連

兵庫県老連、神戸市老連、伊丹市老連へ「友愛の手紙」を送付。